

ボランティア通信

やまぼうし

344号

[箱根ボランティア解説員連絡会 編集]



安心してさわれる自然

さて、このやまぼうしに寄稿させて頂くのは初めてです。ご挨拶が遅れましたが、自己紹介がてら、この一年、箱根で感じたことを振り返りたいと思います。

私の生まれは昭和五十四年京都府伏見区、育ちは滋賀県南部の琵琶湖のほとり。野生生物が好きで、学生時代は、珍しい生き物がいるならどこでも、友人と出かける日々でした。これを仕事にしたいなあ、そこで、環境省に入つたのが平成十五年。多忙なデスクワークに目の眩む霞ヶ関勤務でしたが、一年間、通勤ラッシュを我慢したら、自然保護官として現地に放り出されました。最初は鳥取県大山、次は沖縄県那覇、三年前には小笠原にもいました。途中東京勤務も挟みますが、通算七年、幸せな現地経験を重ねています。

そして、今箱根にいます。ここは、富士箱根伊豆国立公園の中核地域の一つ。関東平野の大都市圏にこういう自

い夏と秋の紅葉を堪能していたら、気がつけば冬でした。この原稿を書く日の朝などは、干しつばなしの洗濯物がカチコチに凍っていました。冬が来れば春もそう遠くない、来春のスミレもきっと美しい。寒い冬こそ前向きに、洗濯物もきちんと取り込みつつ、過ごしたいと思いま

す。今年も残るところあとわずか。皆様はどんな一年だったでしょうか。私は五月に着任しました。春が過ぎ、涼しく五月に着任しました。春が過ぎ、涼しく

箱根自然環境事務所長の澤邦之です。驚きました。でも、この自然をどう表現したらいいのだろう。これが本稿のテーマです。

生の自然とは違います。原生的な自然、たとえば、小笠原の無人島の崖の上で、森に向こうの青い海の水平線に感じる、人の気配のない不思議な怖さと静かさ。これは箱根ではない。逆に、いわゆる里山景観、琵琶湖周りの田んぼと集落、古い人家の間を流れる水路に小魚が泳ぐ風景、これも箱根には少ないと思う。

では箱根には何があるか。昔、関所があつて、当然、人の暮らしもあるので、薪炭林があつて、仙石原のように山焼きで草原が作られて、明治時代に入つてからは、国際的な避暑地として人が訪れ、別荘地が作られて、人が使って、かつ、残る自然。金時山から外輪山内側を見ると、感じことがあります。自然と人が「きちんと納まっている」。寄せ木細工によく似ている。このような場所は他にない。

ここで「箱根の自然を、自然保護官として一言で表現しなさい」という難しいお題を頂いたとしたら、私ならどう答えるか。そうですねえ。「安心してさわれる自然」と答えましょうか。

原生的な自然は、人間が素手でさわるには畏れが多い。一方、里山の自然は中に暮らす人々のものであつて、外の人々が自由にさわれるものではない。

箱根ではどうか。もちろん、立ち入つ

てはいけない場所はあります。だけど、使つていい場所ならば、きちんと整備してある。大涌谷では火山の蒸気が近くで見える。登山道は安全で気持ちいい。温泉に入つて眺める山もすてきだ。おしゃれなカブトで優雅に過ごすのもいい。どの角度でも楽しめる自然が箱根にはあります。

国立公園というのは、自然を守り、かつ、使う場所です。箱根地域の年間来訪者数は約一九〇〇万人、日本で最も人が訪れる国立公園はダテではない。日本の国立公園とは「この箱根のことだ。やや言い過ぎですが、本稿ではそういうふうにいきたい。皆さんはどうでしょう。ただし、いくら「自然をさわれる」といっても、やはりルールがありますね。

植物の採取は法律で禁止されている、という堅い話は抜きにしても、歩道脇に生える植物を見てください。サンショウウ、モミジイチゴ、サルトリイバラ。トゲトゲです、触ると痛い。これらは森と人の境目に生える植物で、森に入る人を躊躇させます。気安く触らないでつづることでしようか。観察会では、華やかなお花を紹介するだけではなく、自然をけなげに守る、小さなものたちにも目を向けてあげればと思います。



行事予定とお知らせ

日付	曜	行 事 内 容
12月28日	木	
29日	金	
30日	土	
31日	日	
1月1日	月	
2日	火	
3日	水	
4日	木	
5日	金	
6日	土	運営会
7日	日	
8日	月	箱根七福神巡り
9日	火	
10日	水	
11日	木	自金時山
12日	金	自VC周辺(ミニ観察会)
13日	土	自仙石原
14日	日	
15日	月	
16日	火	
17日	水	
18日	木	
19日	金	
20日	土	登山道補修、やまぼうし発送
21日	日	
22日	月	
23日	火	
24日	水	登山道補修
25日	木	
26日	金	自VC周辺(ミニ観察会)
27日	土	自黒岳(2月まで第4土曜)
28日	日	
29日	月	
30日	火	
31日	水	

自:自然情報収集活動 VC:ビズターセンター

次回運営会は1月6日(土)

場所:かながわ県民活動サポートセンター

13時00分～16時00分

議題1. 活動報告

- ① 自主研修会(石仏石塔群)
- ② 外部団体依頼行事

議題2. 次回活動予定連絡

- ① 箱根七福神巡り
- ② 外部団体依頼行事
- ③ 次年度行事計画
- ④ 次年度の運営体制

議題3. 事務所からの連絡

議題4. その他 各種検討課題

登山道補修活動

12月20日(水) 資材運搬等

※日程が変更されているので注意

1月20日(土) 資材作成等

※申し込みは1週間前を目安に事務所まで

新春箱根七福神巡り

1月8日(月・祝日)

集合:箱根湯本 箱根登山バス停 9時

時間:9時～16時(予定)

内容:バスで箱根の七福神を巡る

※詳細は4ページ参照

参加ご希望の方は前日までに佐藤会長へ

次年度運営委員&

30周年記念行事ワーキング

グループメンバー募集中!

様々な意見・アイディアをお待ちしています。

年末年始のお休み

* 箱根ビズターセンター

12月28日(木)～1月1日(月)

* 箱根自然環境事務所

12月29日(金)～1月3日(水)

平成二十九年十一月度運営会議事録

【日時】十二月三日(日)

午後一時～午後四時

【場所】箱根ボランティアステーション

【参加者】(敬称略)
佐藤薰、斎藤幸蔵、原田育生
高橋博幸、藤城節子、辻本明
大内雅子、末原興一、福室八重
事務所:澤所長、相原R、後藤A
RVC:欠席、以上十二名
議長:佐藤薰 書記:大内雅子

①「紅葉の箱根路を訪ねて」
十一月七日(火)

* 参加者四十三名、PV十六名。
* もつと詳細、正確な解説をとの一部参加者の意見あり。→それぞれ得て不得手がある、ボランティアである事などへの理解を得る。

②「紅葉の箱根路を訪ねて」
十一月七日(火)

* 団体数は百超え、来場者四千人。
* クラフト手作り一名参加、キーホルダー四十六個販売。どんぐりブローチが一番人気。

* 箱根火山、温泉についての展示とクラフトコーナーを設置。
* 会場の配置場所が一番奥なので展示を見てくる人は少なかつた。

③「UMEKO祭」
十一月二十六日(日)

* ネイチャーフェスタ、UMEKO祭り共に次回も参加していきたい。
④「第二回研修会及び懇親会」
十一月二日(土)

⑤「クリーンディ」
十一月三日(日)

↓当選者以外は参加を認めない旨、抽選結果通知に付け加える。
②「自主研修会(堂ヶ島渓谷)」
十一月十九日(日)

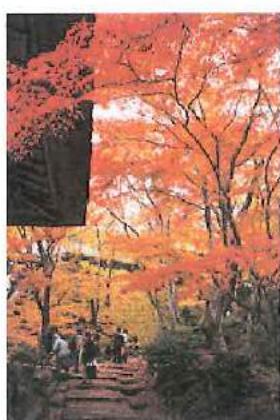
⑥「議題二」事務局からの連絡事項その他
①「一般連絡事項」
* 来年度(平成二十九年度行事につ

参加者十四名、内八期生六名。
講師役PVの解説が素晴らしかった。次回はイワタバコが咲いているときに実施したい。

③「UMEKO祭」
十一月二十六日(日)

十一時頃で終えたコースが多かった。落ち葉とゴミの区別がつきづらいけれど、行事の締めくくりとして次回もこの時期に実施。今年度から箱根町のごみの出しと引きに実施したい。

* 今年度から箱根町のごみの出し方が事業所ごと一度に二袋のみとなつた。大量に出すときは届け出が必要なので次回はゴミ出しの対応案検討が必要。



⑥「議題二」次回活動予定の確認・連絡

自主研修会

* 元箱根(明神ヶ池)石仏・石塔群

* 箱根七福神めぐり
祝日(担当佐藤薰PV)
十一月十日(日)

* 資料希望者は後藤ARまで申し出ること。

②「会計担当からの連絡事項」

* 八期生参加、クラフトの販売による収入増、やまぼうし郵送代減、交流交際費、クリーニング代支出無しにより支出が減少。今年度会計は特に問題なく進んでいる。
* やまぼうしにて入金督促同封したが未入金三名。

いて

* 今年度とほぼ同じ内容、秋から春への入れ替え、環境省行事との重複を避けて案を作成。

* スミレを探しては箱根ランプエスと重なり駐車場が満杯になるとのことで平日にずらして四月二十四日(火)に実施。平日開催に変わるのでPV登録者数やビジター参加者数がどう変化するか予測がつかない。

* 湯坂路は初夏から秋へ、滝巡りは秋から初夏へ入れ替え。
* 夏休み活動は今年より一週間遅く開始。この期間は外部団体依頼が多い

* PVの宿泊希望者が少なくなり、活動への対応が難しくなってきてるので期間は三週間とする。

* 【みん参】は日程を設けず。参加者が少ないので、特に日程を設けず、通常の生情報活動に誰でも参加できることとする。

* 研修会は六月三十日、十二月一日

* 【みん参】は日程を設けず。参加者が少ないので、特に日程を設けず、通常の生情報活動に誰でも参加できることとする。

* 研修会は六月三十日、十二月一日

* これ以降については一月運営会で検討(担当藤城PV)

* 会計担当からの連絡事項

* 八期生参加、クラフトの販売による収入増、やまぼうし郵送代減、交流交際費、クリーニング代支出無しにより支出が減少。今年度会計は特に問題なく進んでいる。
* やまぼうしにて入金督促同封したが未入金三名。

- ③ジオパーク推進関係
ジオベストフリー サイズ五十着入
手、総会以降に配布。
- ④会運営細則整備について
*当会の細部の運営ルール、規約などについては情報としてまとまっていない。明文化して会員への周知をはかりたい。
- *運営細則をリスト化したので整備への協力を依頼したい。(担当 斎藤PV)

【議題四】箱根自然環境事務所より
の連絡事項
→事務所からの連絡参考照

【議題五】検討課題進捗状況

- ①年度別会員被表賛者について
*今後数年間の該当者をリスト化。
今後は運営担当者を決めて通知案内実施。
- *本年度表彰実施・山室京子PV
(十二月三日研修会席上) 山本絢子PV(湯坂路生情報実施時)。
*他一名(村田保三PV)は表彰状を郵送する。
- ②平成二十九年度定期総会への対応等
今後の総会関係準備スケジュールを確認。一月運営会・資料準備、二月運営会・最終案作成、三月・総会本番。

【次回運営会予定】
一月六日(土)十三時～十六時
場所 横浜市かながわ県民サポートセンター会議室

(記録者大内雅子)

議題・分担・報告書類作成担当・各役割の依頼その他内容確認を実施。

③平成二十八年度総会以降の課題等進捗状況について

*「箱根ボランティア解説員連絡会」活動紹介ツール(担当原田PV)

*一件提案案件については、実施行事についても紹介できるようにURLを入れる。検討継続。

*GGG国立公園支援事業の補助金の使い道について(担当辻本PV)

今回ののみの補助となるので一般会計とは別に分けて管理。
軍手、スコップ等を購入、オオバンゴンソウ植生場所の確定のためにGPSの購入を検討。

環境省がVCに駆除のチラシ作成について依頼中、ダブらないよう内容を把握する。

*三十周年記念行事(担当佐藤PV)

V早急にワーキンググループを決めて、ToDoListを作成する。

新春箱根七福神巡りのお知らせ

年明け早々に、箱根の七福神巡りを企画しました。皆様奮って参加ください。

1. 日時： 平成30年1月8日(月・祝) 9時～16時頃(予定)
2. 集合： 箱根湯本駅 箱根登山バス バス停
3. 内容： 箱根湯本駅からバスを乗り継いで、箱根七福神を巡ります。
4. 申し込み： 1月7日(日)までに佐藤会長までご連絡ください。

【参考までに】お得な切符 箱根旧街道1号線切符

<http://www.hakone-tozanbus.co.jp/ticket/1gou.html>



自主研修会の報告

以下の自主研修会が終了致しましたのでお知らせいたします。



① 11月19日（日）：堂ヶ島渓谷

参加PV：14名

快晴の一日、紅葉の宮の下、蛇骨川渓谷、堂ヶ島早川渓谷を楽しみました。

今春の行事「堂ヶ島渓谷」の担当者（青山PV、小川潤PV、原田PV）の解説を伺いながらの実りある観察会でした。来年度の行事に向けコースやジオサイトの確認等も同時に行えました。参加PVの皆様大変お疲れ様でございました。

② 12月10日（日）：精進池周辺の石塔石仏群

参加PV：18名

本年最終の研修会は歴史・ジオサイト満載の精進池周辺でした。

石塔石仏群が造られた時代は、精進池周辺は地獄の様相を呈していました。芦ノ湖から吹き上げる冷たい風や湧きおこる霧、駒ヶ岳や二子山から吹きおりてくるガスが容赦なく旅人を苦しめたことでしょう。火山活動もまだ活発でした。湯坂道を通り箱根越えをした往時の人々、講を結んで祈りを捧げた人々に想いを馳せながら解説を伺いました。女川PVの丁寧な解説を伺い大変充実した一日を過ごしました。

冷たい強風が吹きすさぶなかでの研修会でした。

参加PVの皆様大変お疲れ様でございました。



今回のふたつの自主研修会は、来年度の行事へむけての勉強となる研修会でした。協力下さったPVの皆様に心から感謝致します。個人的な意見を申せば、一人でも多くのPVに御参加頂き活動に生かして頂きたいと思います。来年度も自主研修会を開催して参りますので奮ってご参加下さい。

本年も大変お世話になり有難うございました。

来年も皆様にとりまして良い御年となりますように、益々のご活躍をお祈りしております。

担当 藤城節子

第2回UMECO祭りに参加して

原田育生

に参加しています。

今般、おだわら市民交流センターで開催された第2回UMECO祭に箱根PVの活動と箱根の自然の紹介及びクラフトの販売を目的として参加しましたのでその概要を報告致します。

【日時】
平成二十九年十一月二十六日
(日)十五時

【参加者】
箱根ボランティア解説員
麻野雅三、太田真一郎、
大坪尚子、斎藤幸藏、末原興一、
高橋博幸、長野慶子、藤城節子、
原田育生 以上九名
自然箱根財団箱根支部(VC)
加藤和紀主任 以上一名

【報告内容】

先ずUMECOの名前ですが、おだわら市民交流センターの愛称です。小田原城の公園に小さな動物園があつた時のゾウの名前です。その名前は小田原が梅の産地に由来しています。我々はこの場所で運営会、総会を行つており、またUMECO主催の夏休み体験学習

夏休みの土曜日または日曜日での一日で売れた数を超えていました。人気はブローチでした。展示については箱根火山の説明を求められたり、我々の活動内容を聞かれたこともあります。

この祭はボランティア等の活動センターが集つて出来た新しい交流センター主催の祭で、昨年から始まり、その時は団体紹介ポスター展のみの参加で我々PVの活動の紹介をしました。今回は新たにブースを設けてクラフトの販売と教室・箱根火山の成り立ちと温泉の展示を行いました。



夏休みの土曜日または日曜日での一日で売れた数を超えていました。これらはブローチでした。展示については箱根火山の説明を求められたり、我々の活動内容を聞かれたこともあります。これらの経験を生かして来年度のイベントに生かしていくと思います。

準備(箱根で二回、小田原で一回)本番に参加された多くの方に感謝致します。手探りでしたが、楽しく活動できたのではないかと思います。



たが、八月に参加した Hakone Nature Festa の経験が役に立ち、クラフト・展示の配置も効率的で良かったと思います。とは言え展示物をじっくり読まれた来場者は数える程でまだまだ課題が残っています。これらの経験を生かしていきました。

今回の参加団体数は百を超え、推定ですが来場者は四千人を超えたとのことです。通路は人で溢れていて大盛況でした。我々のブースも多数の方が訪れました。お陰様で四十六個のクラフトが売れました。VC活動においてのGW、

団体紹介ポスター展は約百ある団体ポスターに来場者がこれほど思うポスターに一票を入れるコンテストです。我々のポスターは残念ながら入賞は逃したもののかなりの票を得ることができました。箱根における自然観察会・登山道整備及び美化清掃、ビジターセンターアクティビティ、モニタリング等の活動を紹介出来たと思います。

今回もブースを設け展示及び販売を行うと言う初めての経験でした。

最後ですが展示物を快く提供して頂いた箱根VCに御礼申し上げます。

箱根自然環境事務所からのお知らせ

平成二十九年第二回PV研修
報告

晴天の中、講師による講義および野外でのシカ柵設置範囲や現物での説明等が行われ、三十六名の方が参加されました。寒い中お疲れさまでした。

資料配布 当日の資料を希望される方は事務所後藤ARまでご連絡ください。



◇◇◇予定◇◇一件◇◇
外部団体依頼(敬称略)

▼自然公園財団箱根支部▲

日時 平成三十年一月二十三日(火)九時～十二時

内容 イタリ池での冬鳥観察
協力 山本(健)

箱根ジオパーク関係(敬称略)

〔第三回ジオガイド講座〕報告

日時 月十四日(火)、十一月二十一日(火)、十一月二十六日(日)

参加PV
戸(英)
斎藤(幸)

〔第四回ジオガイド講座〕報告

日時 十一月二十九日(水)十時～十七時

参加PV
小川(潤)、末原、瀬戸(英)

デジタルカメラについて〔周知〕
以前より自然情報の各コースに配布しているデジタルカメラですが、使用していないコースがあれば回収したいと思います。各コースの保管担当者は今一度ご確認をお願いいたします。

【八期生】箱根PV帽子〔周知〕
PV帽子を順次お渡ししております。お持ちでない八期生の方は事務所の後藤AR宛てに来所ください。

PV年間活動回数〔注意喚起〕

平成二十九年も終わりに近づいてきました。今年度、登録更新の作業を進めております。

登山道補修準備活動〔募集〕
箱根町管理の登山道補修・調査
毎月第三土曜日 資材作成等
：一月二十日

毎月第四水曜日 登山道調査、
資材運搬等：十一月二十日

毎月第四水曜日から変更となつております。ご注意ください。予備日は十一月二十一日。

お問い合わせやお申し込みは一週間前を目安に当所まで。

また、「活動回数について確認の連絡」「活動意志確認書の送付」を適宜させて頂きますので、ご協力よろしくお願ひします。

活動について、なにかお困りの点などありましたら、はやめに当所の後藤ARまでご相談ください。

年間五回以上の活動回数を満たしていない場合、登録更新はできません。今一度、ご自身の活動を振り返り、活動計画に生かしていただきますようお願いします。

また、「活動回数について確認の連絡」「活動意志確認書の送付」を適宜させて頂きますので、ご協力よろしくお願ひします。

活動について、なにかお困りの点などありましたら、はやめに当所の後藤ARまでご相談ください。

い。

【箱根自然環境事務所】

TEL:〇四六〇一八四一八七二七
FAX:〇四六〇一八四一九三四九

年末年始のお休み〔連絡〕

箱根VC 十二月二十八日(木)
(一月一日(月))

箱根自然環境事務所 十二月二十九日(金)～一月三日(水)

箱根の自然情報



芦ノ湖西岸

十一月十六日(木)

★★★
天気 快晴
参加者 石田、長野、
松本 計三名
★ ビジター 一名

箱根町港 八時五十分。
快晴、風微か。気温六℃。
海賊船待ち客は少ない。
民家の庭先にダイキンジソウが枯れて下がる。ツルマ

サキの赤い実が弾ける。ノブドウが色とりどりの実をつけている。ツルウメモドキの実が赤く弹ける。ハナタデの実に赤味が増す。メギの実が赤く輝く。サルトリイバラの実が赤く輝く。テンナンショウが赤く大きいた実をついている。リュウノウギク咲き残り。コアジサイが黄葉だ。ツルリンドウを落とし冬芽が目だつ。ヤマロシンが赤い実を垂らしている。

白浜入口 十時十分
白浜十時二十分。八℃。
スノキが紅葉だ。ヤブムラサキシキブが小さい紫色の実をついている。コナラの落ち葉をサクサクと踏み歩く。ツタウルシが紅葉だ。

篠ヶ鼻十一時二十分
震災慰靈碑十一時三十分
いつもながら掃除がされている。沢の湧水 中。十℃。
百貫ノ鼻十二時
真田浜十二時二十分
休憩昼食、九℃。風微か。

★★★
天候 晴
参加者 新開安佐子、石田靖子、井戸君江、宮原裕子、小林貞一、佐々木清一、森良雄、丸部克己、末原興一、大坪尚子、計十名
気温 十七℃

久しぶりの箱根です。仙原のすすきの原は人出でぎわっていました。紅

が似合う。アオハダの赤い実が散り広がっている。立岩十三時四十分 小杉ノ鼻十四時五分 シロヨメナ咲き終わり 亀ヶ崎十四時五十分 ダンコウバイに花芽だ 深良水門十五時十五分 キャンプ村十五時五十 分帰着。八℃。この季節観察で目につく物はない。

【報告者 松本 勇】
十一月十一日(土)
★★★
天候 晴
参加者 新開安佐子、石田靖子、井戸君江、宮原裕子、小林貞一、佐々木清一、森良雄、丸部克己、末原興一、大坪尚子、計十名
気温 十七℃

葉も始まっています、箱根が賑わっています。大涌谷の噴煙も収まっているよう朝のうちは強風が心配されましたが一日おだやかな観察日和でした。自然観察も人数が多い方といろいろ目が行き届き、会話も弾み、楽しかったです。

【花の終わりの植物】
○ 観察した主な植物
【つぼみを観察した植物】
○ コブシ、ライチゴ、フユンハナワラビ、ミツマタ
【花が開きはじめた植物】
○ リンドウ
【花の終わりの植物】
○ アキノタムラソウ、イタドリ、イヌタデ、ゲンノショウコ、シユウブンソウ、セイタリンドウ
【花が開きはじめた植物】
○ リンドウ
【花の終わりの植物】
○ カワセミ、チヨウサギ、ツグミ、トビ、ヒヨドリ
【花の終わりの植物】
○ エナガ、コゲラ、シジュウカラ、メジロを混群で見えた。
【花の終わりの植物】
○ モミジの紅葉が美しかった。テニニンソウに虫の搖籃をたくさん見ることができた。

【実の色づいている植物】
ウバユリ、コマユミ、クサボタン、サルトリイバラ、スイカズラ、ダイコソウ、ツチアケビ、ツルウメモドキ、ツルシキミ、ツルリンドウ、ナギナタコウジ、ノイバラ、マツカゼソウ、フジテニンソウ、ヤマグリ
【観察した野鳥類】
○ カワセミ、チヨウサギ、ツグミ、トビ、ヒヨドリ
エナガ、コゲラ、シジュウカラ、メジロを混群で見えた。
【その他の観察】
モミジの紅葉が美しかった。テニニンソウに虫の搖籃をたくさん見ることができた。

【本日のトップ10】
ツチアケビ、コマユミ、カエデ(紅葉)、ツルニンジン、キツコウハグマ、カラ類(エナガ、シジュウカラ、コゲラ)、リンドウ、チュウサギ、フユノハナワラビ、ツルウメモドキ

【報告者 森 良雄】

大涌谷(姥子)

★★★★
十一月十八日(土)
天候 曇り&小雨
気温 六℃(十二時)
参加者 青山(貞)、篠崎、一寸木、村松、林、宮崎、谷上、渡邊
計 八名

★
コース VC(石畳) 船見岩(姥子駅) 金太郎岩展望台(VC)
日々気温が下がっていくのを感じながら今年も紅葉が箱根を少しづつ彩ってきました。

今日の観察コースもときおり落ち葉を踏みしめながら進みます。心地良い響きはかつて箱根で見た素晴らしい紅葉の記憶を呼び起こします。そして今は閉鎖中の大涌谷探勝路の様子が気にかかります。秀明館辺りのコミニカエデは紅葉が鮮やかな時期でしょう。ミズメの黄葉は終わるでしょうか?ブナの大ブナは元気でしょか?それらに会えるの

は何時のことでしょう。待ち遠しい。

○観察した主な植物 ○

【主に花または蕾を観察】
オニシバリ、ガンクビソウ、シロヨメナ、センブリ、ダイアザミ、ノコングク、リュウノウギク、リンドウ

【実・種子を観察】

アオギ、アキノキリンソウ、イヌツゲ、ウド、オトコエシ、ガマズミ、ガンクビソウ、キヅコウハグマ、キントキヒゴタ、イ、クサギ、ゲンノショウコ、コバギボウシ、コボタンヅル、

サルトリイバラ、サワヒヨドリ、スイカズラ、ズミ、タマアジサイ、ツチアケビ、ツルウメモドキ、ツルリンドウ、ノブキ、ハリギリ、ハシショウヅル、ホソバテンナンショウ、ヒヨドリバナ、ヘクソカズラ、ユミ、ミズキ、ミツバウツギ、ヤシャブシ、ヤブコウジ、ヤマラツキヨウ

【紅葉や黄葉を確認した植物】

アサノハカエデ、イイギリ、エノコウカエデ、オオモミジ、カジカエデ、クロモジ、ケヤキ、コシアブラ、コミニカエ



【報告者 渡邊 素直】

《本日のトップ10》
センブリ花、ツルリンドウ実、ツルウメモドキ実、コシアブラン葉、クロモジ葉、オオモミジ紅葉、ハリギリ実、ズミ実、マユミ実、アサノハカエデ紅葉

○ 声を聴いた鳥 ○
カラ類、ヒヨドリ

【その他観察したもの】
ウツボグサ、ウメモドキ、クルマムグラ、ダイコンソウ、ニワトコ、ハコネグミ、ハコネナヒリノキ、ハナイカダ、ホドイモ、モミジイチゴ、ヤシブシ、リョウブ、ワレモコウ、オオハナラビ、クラマゴケ、ゼンマイ、ベニシダ

デ、サンカクヅル、ノリウツギ、ハリギリ、ブナ、ミズキ、ヤマボウシ

芦ノ湖東岸

★★★★
十一月二十六日(土)
天候 晴れ
気温 六℃

参加者 阿部葉子、猪原悟、榎本吉男、佐々木彰、佐藤薰、佐藤完治、正木和彦、竹内久美子、舟橋真、舟橋恵子、藤城節子、山本絢子、計十二名

★
コース VC(湖尻) 神山通り
→箱根園

実が目立ち短枝もしっかり観察できました。

次はケヤキの大木に足を止め、地衣類で環境が良い指標とされているウメノキゴケを観察しました。

芦ノ湖畔では名前のわからない魚が群れて泳ぐ姿が見られ、看板を見ながら、リーダーが芦ノ湖の形が右足に似ていて、標高が725mに位置しているとの説明に頷きながら、リード

神山通りに入りました。秋晴れのような青空で、紅葉、黄葉の色合いがいつそう輝き際立たせていました。参加者は見事な紅葉にこころ奪われて、歩きながら空をいく度となく見上げてしまいました。

歩き始めてまもなくオニシバリの新しい葉やカラスザンショウの果実の匂いを確認し、ツルリンドウのつややかな果実など観察し秋の終盤を実感しました。

歩く途中では雪化粧の富士山の姿も見ることが出来ました。

歩き始めてまもなくオニシバリの新しい葉やカラスザンショウの果実の匂いを確認し、ツルリンドウのつややかな果実など観察し秋の終盤を実感しました。

新しいホテル「はなおり」前アオハダに今年は赤い果実がびっしり付いており、葉がすっかり落ちてより果

筋もあり、イノシシの掘り返した後も見られました。沢山のシダを見かけましたが、ゆっくり観察できず少々心残りでしたが、次

回の課題になりました。

今日はなぜかトリの鳴き声や昆虫など気づきました。



○観察した主な植物○

【花を観察した植物】

シロヨメナ、ダイコンソウ
(残り花)、ハキダスギク、ベニバナボロギク、

【蕾を観察した植物】

アオキ、アオハダ、アズマヤ

【果実を観察した植物】

マザミ、オオバウマノスズ

クサ、オオバジャノヒゲ、カラスザンショウ、キカラスウ

リ、キツコウハグマ、ヨアジサイ、コチヂミザサ、コバギボ

イ、コバギボ

ウシ、サラシナショウマ、サ

ンショウ、ススキ、セイタカ

アワダチソウ、ノブキ、タ

ングリ(アカガシ)、ナギナ

タコウジュ、ノコシギク、ヘク

ソカズラ、ツルシキミ、ツル

マサキ、ツルリンドウ、ホト

トギス、ブナ、マツカゼソウ、
ムラサキシキブ、モミジガ
サ、ヤマホトトギス、ヨシ、
ヨモギ

【葉を観察した植物】

アカガシ、イワタバコ、ウリ
ハダカエデ、エイザンスミレ、

エンコウカエデ、オニシバリ

(別名:オニシバリ)、カジカ

エデ、カンスゲ、クマヤナギ、

クロモジ、コミヤマスミレ、

チドリノキ、ハコネイトスゲ、

ブナ、フツキソウ、ヒメレン

ゲ、モトゲイタヤ、ミツバウ

ツギ、ミヤマカンスゲ、モミ

ジチゴ、ミヤマキケマン、

ヤマボウシ

【観察したシダ】

アカハナワラビ、イヌシダ、

イヌワラビ、オオハナワラビ、

オオバノイノモトソウ、キヨ

タキシダ、クモノスシダ、ゲ

ジゲジシダ、コバノヒノキシ

ダ、シノブ、ジュウモンジシ

- ※本日のトップ10※
1. オオハナワラビ
 2. オオバウマノスズクサ果実
 3. ツルリンドウ果実
 4. アオハダ果実
 5. ツルマサキ果実
 6. エイザンスミレ夏葉
 7. ウリハダカエデ紅葉
 8. ケヤキの大木紅葉
 9. チドリノキ黄葉
 10. ヤマボウシ紅葉

【報告者:山本絢子】

★ ★ ★ ★ ★
十一月二十六日(日)
九時半～十四時
天候 晴れ
気温 五℃
仲間

【その他観察した地衣類】
ウメノキゴケ、ジャゴケの

★★★★★
参加者 青山香代子、
石塚周子、猪原悟、
小川潤、佐々木彰、
鈴木教正 計六名

先ずは湖尻から深良水門に向かいます。広葉樹の葉が落ちて、枝の間から芦ノ湖が見えます。風が駿河湾方面から大涌谷を東に抜けているからか、噴気はさほど目立ちません。眞青な空、秋晴れです。雲が出る前に外輪山からの眺めを見ようと、先を急ぎました。

そうは言つても、足元のマツムシソウの花やコアジサイの黄葉等に目を奪われ度々立ち止まり、お腹も空いて陽だまりの草地で昼食。結局はいつものペースとそう変わりません。

黒岳の斜面からは、神山、駒ヶ岳、芦ノ湖、仙石

○観察した主な植物○

【花を観察した植物】

アキノキリンソウ、シロヨメナ、タイアザミ、ノコシギク、

ダイコンソウ、リンドウ、リ

ユウノウギク、マツムシソウ、

ヤマラッキョウ

【芽を観察した植物】

コブシ、ドウダンツツジ、リ

ヨウブ

【実や種を観察した植物】

アオツヅラフジ、アセビ、ガ

マズミ、キツコウハグマ、ゲン

ノショウコ、サルトリイバラ、

ジャノヒゲ、スイカズラ、ツ

ルウメモドキ、ツルシキミ、

原、丹沢の蛭ヶ岳から大山まで、伊豆の大瀬崎や静岡の日本平方面が望めます。ここから眺めると中央火口丘の神山の山体崩壊でできたという斜面の真ん中にビジターセンターが見えます。展望公園に着くと、五合目まで冠雪した富士山そして左裾の先には、南アルプス南部の赤石岳や聖岳の白い峰が確認できました。期待通り、納得の眺望に満足して下山しました。

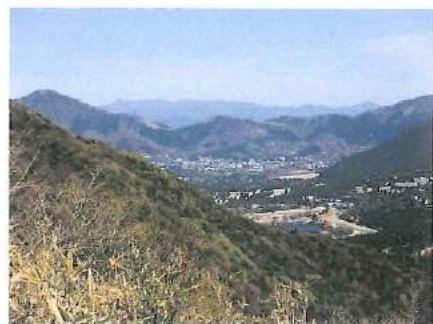
ツルマサキ、ツルリンドウ、ナギナタコウジユ、ヘクソカズラ、マツカゼソウ、マユミ、ムラサキシキブ、モミジガサ
【葉や幹を観察した植物】
アズマギク、アブラチャヤ、アリノトウグサ、ウコギ、オオモミジ、オオバウマノスズクサ、オニシバリ、カジカエデ、ヨアジサイ、ツチアケビ、ハコネダケ、ヒノキ、ブナ、ヤマボウシ
【コケ・シダ植物など】
カサゴケ、クラマゴケ、ホコリタケ(キツネノチャブク)
○その他観察した物 ○
ザトウムシ(虫)、アブ(昆虫)、糞の糞(毛多量含有)
キツネか? ○
○ 観察した野鳥類 ○
オオバン(鳥)
○ 参加者 ○
小川治夫、麻野雅三、小川修、小田原富也、清水和子、原田育生、丸山卓哉、丸山順生、谷上俊三、計十名
◆本日のトップテン◆
①マツムシソウ(花)②コアジサイ(黄葉)③リンドウ(花)④ツルリンドウ(赤実)⑤ツルシキミ(赤実)

★★★

十一月十日(金)
天候 晴れ
気温 十一℃
(午前九時半)

★★★

VC周辺



【報告者 小川潤】
【植物】
薔薇(6)サルトリイバラ(赤実)⑦リュウノウギク(花)
⑧オニシバリ(薔薇)⑨ツルマサキ(橙実)⑩獣の糞

【男性四名 計十一名】
観察会テーマ
「紅葉と落ち葉」

★ ★ ★ ビジター 女性七名、
VCへ自然学習歩道へ
野鳥の森へVC
★ 観察コース
VCへ自然学習歩道へ
野鳥の森へVC

ています。

カワラヒワの鳴き声を遠くに、落ち葉の観察をしながら野鳥の森を回りVCに戻つてきました。

落ち葉がやがて腐葉土となり木々の栄養になること、落ち葉が積もった森の多様な働き等も話題にしながら、箱根の森の往く秋を惜しみました。

○観察した主な植物○
【紅葉・黄葉を観察した植物】
サンカクヅルは真っ赤、アオハダ、コシアブラは淡いクリーム色で木もれ日に透けて見えます。また、

果実もガマズミの赤、ムラサキシキブの紫、他コボタンヅル、ミツバツツギ等それぞれの色、形で実っています。
【花を観察した植物】
キツコウハグマ、コウゾリナ、シロヨメナ、センブリ、タイチドリノキ、ミツバツツジ、ヤマボウシ

【実を観察した植物】
オオミヤマガマズミ、カマツカ、ガマズミ、コボタンヅル、コマユミ、サルトリイバラ、サラシナショウマ、サンカク

ツル、サンショウウ、シオデ、

スイカズラ、ズミ、ツルウメモドキ、ツルマサキ、ツルリンドウ、ニシキギ、ハナタデ、マユミ、ミツバツツギ、ミヤマガマズミ、ムラサキシキブ、ヤマボウシ

【観察したその他植物】
ハナイカダ、フユノハナワラビ(胞子葉)

○観察した野鳥類○
カワラヒワ、キビタキ、コゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ヤマガラ

○観察した昆蟲類○
クロコの繭、クロモジメフクレフシ、ケヤキハフクロフシ、ヒメツチハシミョウ

○その他観察した物○
モグラ塚

○本日のトップテン○
アオハダ(黄葉)、イロハモミジ(紅葉)、オオモミジ(紅葉)、オオモミジ(紅葉)、ツルリンドウ(実)、ムラサキシキブ(実)、キツコウハグマ

(花)、カワラヒワ、クワコの
蘭

【報告者 清水和子】

★★★★★
十一月二十四日(金)
十時～十二時
天候 晴れ
気温 五℃

参加者 太田真二郎、
女川修、小川あい子、
小川治夫、麻野雅三、
篠崎容子、鈴木教正、
高橋博幸、原田育生、
谷上俊三、丸山卓哉、
丸山順子 計十二名

ビジター 女性五名、
男性四名 計九名
観察会テーマ
「VC周辺で見られる
野鳥」

★ ★ ★
● 観察コース
VCの自然学習歩道
子供の広場～野鳥の森
白百合台園～花の広場
～VC

十月から十二月は野鳥
にとつて移動の季節であり
ます。移動の内容によつて
それぞれ区分けされます。
春に南から渡来し、箱根
で繁殖して、秋に南へ移動

するのは【夏鳥】。北方で
繁殖して、秋に渡来て越
冬し春に北に帰るのは【冬
鳥】。北上または南下の途
中で立ち寄るだけの鳥は

【旅鳥】。一年を通して生
息するが地域を移動する
鳥は【漂鳥】。渡りの途中
で迷つて渡來した鳥は【迷
鳥】。一年を通して生息す
る鳥は【留鳥】。

運が良ければ、それぞ
れの野鳥がVC周辺で見ら
れる時期ですが……?
気配はするけど姿は見
せず地鳴も警戒音も少な
いのんびりした小春日和の
二時間でした。

VC周辺で見られる
野鳥

○ 観察した主な植物
【紅葉を観察した植物】
イロハモミジ、オオモミジ、エ
ンコウカエデ

【果実を観察した植物】
アオツヅラフジ、イヌザン
ショウ、オニドロロ、ガマズミ、
カラスザンショウ、ゲンノシ
ヨウ、コバギボウシ、コボタ
ンヅル、サルトリリイバラ、シ
ウド、スイカズラ、センニン
ソウ、ツルウメモドキ、ツル
シキミ、ツルマサキ、ツルリ

【花芽を観察した植物】
アセビ
【冬芽を観察した植物】
コブシ
【その他観察した植物】
ケヤキの大木(枝分かれし
た窪みからイロハモミジが

ンドウ、ニシキギ、ノササゲ、
ハナタデ、ハンショウヅル、ヘ
クソカズラ、ムラサキシキブ、
ヤマノイモ

生えていて見事に紅葉して
いた。)



○ 観察した主な野鳥 ○

アオジ、ウソ、エナガ、カシ
ラダカ、コグラ、シジュウカラ
ラ、ハシブトガラス、ハシボソ
ガラス、ヒヨドリ、ヤマガラ

○ 観察した主な昆蟲 ○

アキアカネ、キンケハラナガ
ツチバチ、ヒメツチハシミヨ
ウ、ヤママユの繭

○ 観察した主な虫えい ○

イタヤカエデハツルフシ、オ
オモミジハヒメイボフシ、ヨ
モギハエボシフシ

○ 観察した主な虫えい ○

ツルリンドウ(実)、イロハモ
ミジ(紅葉)、オオモミジ
(紅葉)、オオハナワラビ
【野鳥】 ウソ、エナガ、カ
シラダカ、ヒヨドリ
【昆虫】 キンケハラナガツ
チバチ

湯坂路

★★★
十二月四日(月)
九時～十一時

天候 晴れ
気温 四℃

★★★★★
参加者 太田真二郎、
女川修、佐々木清一、
鈴木泰子、原田彪、
藤城節子、安井彪、
山本絢子、篠崎容子
計 九名

今年度最後の湯坂路コ
ースです。来年度の予定な
どをボランティアステーシ
ョンで昼食をとりながら話
し合うので、時間の関係か
ら湯坂路入り口に集合し
ました。

観察路に入ると、両脇
の草がきちんと刈られています。作業員のきまぐれ
か、スキが一列残された
ところがあり、その様子に
皆で苦笑い。紅葉したカラ
マツやモミジの落ち葉を踏
みながら歩きます。

実際に刈り取られずに
すんだサルトリリイバラが赤
い実をつけています。キラ

【報告者 丸山順子】

キラ輝いていて可愛らしいこと。その後観察路から林の中に入ると、足元のツルリンドウやツルシキミの赤い実が目に入ります。

下の林道に出るとヒメツルソバがところどころにピンクの花をつけています。このままで箱根の山中で野生化してしまったので懸念されるので、何らかの対策が必要かと感じました。

二か月前に見て感激したナギナタコウジュは茶色くなり、歩いた後に独特的の香りを漂わせていました。咲き終わったセンブリには可愛らしい実がたくさんついています。

林道を進んでいくと、黒い実をたわわにつけたタラノキがありました。その林道にはシカの足跡がくつきりとついています。

時間を気にしながらの帰り道、サクラの木についたマツゲゴケを皆で観察しました。

ボランティアステーションでは、レンジャーの相原さんや後藤さん、VCの石原さんが加わり楽しい食事

会となりました。

来年度の活動は四月九日(第二週月曜日)から始まり、四月二十三日(第四週月曜日)も実施する予定となりました。



○ 観察した主な植物 ○

【薔薇を観察した植物】
クロモジ、スギ、ツルシキミ

【花を観察した植物】
タイアザミ、ヒメツルソバ

【果実を観察した植物】
アキノキリンソウ、アキノタムラソウ、イヌトウバナ、キツコウハグマ、ゲンノショウコ、

【葉を観察した植物】
ムラソウ、シロカズラ、サルトリイバラ、センブリ、

タイアザミ、タラノキ、ツルシキミ、ツルニガクサ、ツルリンドウ、ナギナタコウジュ、

ノコノギク、ヒメノガリヤス、ヘクソカズラ、ホソバテンナ

ンショウ、マツカゼソウ、モミジガザ、ヤマグリ

【葉を観察した植物】

アオツヅラフジ、オオバウマノスズクサ、ウラジロガシ、

シラカシ、ナツグミ、ニガイチゴ、ニワトコ、アキノタムラソウ(ロゼット葉)、ウツボグサ(ロゼット葉)

【紅葉を観察した植物】
イロハモミジ、オオモミジ、

ガマズミ、クマイチゴ、コゴメウツギ、シモツケソウ、スノキ、モミジイチゴ、ヤマツツジ

【冬芽を観察した植物】
サンショウ、タラノキ、ムラサキシキブ、リョウブ、ヤマグリ

【その他観察した樹木】
カラマツ

【観察したシダ】
ウラジロ、トウゲシバ、ヒメノキシノブ、ヒメワラビ

【観察した地衣類】
マツゲゴケ

○ 観察した動物の足跡 ○

シカ

【本日のトヅブテン】

ツルリンドウ(果実)、ツルシキミ(果実)、サルトリイバラ(果実)、タラノキ(果実)、オオモミジ(紅葉)、

ヤマツツジ(紅葉)、スノキ(紅葉)、クマイチゴ(紅葉)、マツゲゴケ、ウラジロ

【報告者 篠崎容子】

仙石原 第二土曜日
リーダー 小林(貞)

展示 鈴木(泰)・佐藤(真)

大涌谷 第三土曜日
リーダー 青山

展示 高山・渡邊

VC周辺

第一二・第四金曜日
リーダー・展示 高橋(博)

湯坂路 第一月曜日

一月・二月は休止
リーダー・展示 山本(絢)

芦ノ湖東岸

三月・十一月第四土曜日
リーダー・展示 猪原(悟)

黒岳・湖尻峠 第四日曜日
十二月・二月第四土曜日
リーダー・展示 猪原(悟)

自然情報実施案内

二〇一七

芦ノ湖西岸 第三木曜日

十二月・一月は休止
リーダー・展示 未定

金時山 第二木曜日
リーダー・展示 原田

展示 鈴木(泰)・佐藤(真)

仙石原 第二土曜日
リーダー 小林(貞)

展示 鈴木(泰)・佐藤(真)

大涌谷 第三土曜日
リーダー 青山

展示 高山・渡邊

VC周辺

第一二・第四金曜日
リーダー・展示 高橋(博)

湯坂路 第一月曜日

一月・二月は休止
リーダー・展示 山本(絢)

芦ノ湖東岸

三月・十一月第四土曜日
リーダー・展示 猪原(悟)

黒岳・湖尻峠 第四日曜日
十二月・二月第四土曜日
リーダー・展示 猪原(悟)

情・報・告・知・板

『2017年度の主な行事が無事終了!』

先日、PV研修と、その翌日にクリーンデーが実施され、当初から計画されていた今年度の行事が終了しました。関わっていただいた全ての皆様、大変お疲れ様でした。引き続き、自然情報収集活動や、年始には箱根七福神巡りも予定されています。運営会では、次年度の行事や運営体制についての議論が活発になっていきます。どなたでも参加できる開かれた運営会に、お待ちしています!



『登山道補修活動』 ※申し込みは1週間前を目安に事務所まで

12月20日(水):資材運搬等 (日程が第三水曜に変更) 1月20日(土):資材作成等

『年末年始のお休み』

*箱根ビジターセンター 12月28日(木)~1月1日(月)

*箱根自然環境事務所 12月29日(金)~1月3日(水)



『箱根七福神巡り 1月8日(月・祝) 9:00~16:00』

集合:箱根湯本 箱根登山バス停 9:00 バスを乗り継いで七福神を巡ります

※詳細は4ページをご覧ください。申込は前日までに佐藤会長へ

『PV資格更新』 やまぼうしの発送は、活動日数1日にカウントされます。(1日分のみ)

足りない方はぜひ、発送日の13時にかながわ県民活動サポートセンター9階へどうぞ。

「やまぼうし」の原稿を)送って下さい!

11月号のやまぼうし 発送参加者 山室・青山香・長野・大谷

大谷恵理…Eメール:eri-bell@mug.biglobe.ne.jp Fax:047-477-8173 (原稿の他、写真やイラストもお願いします)

長野慶子…Eメール:sknagano2@jcom.home.ne.jp Fax:0466-36-6783

佐藤 薫…Eメール:k_sato_drtu@kg7.so-net.ne.jp Fax:045-473-0084 (自然情報担当)

編集
集
後
記

気異技いつらだ有まい皆シ林未根しぬ一物で途食最ずのえで力しつり認識の被
がな術大て更と効し間伐力業然でまよれ度のき切料のも無状るもはたしてましを新
しるとき、に言なた題跡のでにはううば生多ずれに多衝い態と食樹が、いた。たつに刻
ますア共な簡人わ方。が地食も防、恐も、態く、れで様撃こで爆べ皮、今つもりする機
す。上に課單口れ法獸取の害、ぎ何ろな人系も蜂ばき性をと数發るからにするに修は
ロ、題にのまほ害り再やかたとしい間の失の、るが受をが的こと、死研修は、でもわか
までは減す人を上造、ないし破のバわ受蜂花失け知減にと、死研修は、でもわか
大谷チれす解るがが避け林そりもてで壞力ラれ粉はがわたりる増え、闕葉まで、シカ
谷がま。決日、住けらがの前のもしがでんるに巣一れのまこと、はしてシカ
理必で最で本こむるれ進せかでそた。進はスこと頼を時、はしこと、は自をでシカ
要と新きにれこ最てまいらすれ。んどがと、維で蜂、た。は自をでシカ
なはのなとかともきなで、▼を箱でう崩。植持もが植。ま然超何シカ